

## 理事会報告・臨時総代会のまとめについて

改選により6月に発足した新理事会は、新体制への変更や臨時総代会準備のため12月までに計10回開催していますが情報発信不足でした。今後、理事会からの発信として「はちどりレター」に続き、理事会で話し合った要点をまとめた「理事会開催報告」を下記のように掲載し、理事会傍聴や議事録の閲覧をはじめ、開かれた理事会となるよう取り組んでいきます。

今後、どのような常総生協にしていきたいかなど話し合っていく大事な年ですので、総代や組合員の皆さんも是非関心をもって、声をお寄せください。(春には懇談会やアンケートなども実施予定です)

 <p><b>第10回 理事会 開催報告</b></p> <p>日時 12月21日(土)10時～ 場所 生協本部 組合員活動室 出席 理事8名・監事3名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【第1号議案】臨時総代会振り返り及び「まとめ」の件→承認</li> <li>【第2号議案】理事補充、および役員選任委員の再募集の提案→承認</li> <li>【第3号議案】第52回通常総代会日程及びスケジュールについて→承認</li> <li>【第4号議案】2025年度活動方針の件→継続審議</li> <li>【第5号議案】継続雇用(就業規則改定)について→承認</li> <li>【第6号議案】行方プライド飯田氏との関わり方について→承認</li> <li>【第7号議案】対外関係の協力についての検討指針について→承認</li> <li>【第8号議案】理事会終了後の報告・議事録について→承認</li> </ul>	<p>次回理事会の予定 1月25日(土) 10時～12時 ※傍聴希望の方は 予めお知らせください</p>
---	--	--

今回は鈴木牧場の鈴木さんが傍聴に来てくれました。臨時総代会で出た意見や質問を振り返ってまとめる作業や、次の総代会に向けてのスケジュール確認、職員の継続雇用の規則改定、監査報告などの議題がありました。

大豆、子育て支援、プラスチック削減など各プロジェクトに多くの方が参加しやすいように仕組みづくりを考えています。また、理事の定数がギリギリなので役員選任委員を募集し(詳しくは1月3回News letter参照、募集は1/15ㄨ切)、その後、理事の立候補や推薦を募りますので、みなさまぜひ前向きにご検討ください！

また昨年11/30に開催された「臨時総代会のまとめ」(全12ページ)も今週配布していますのでご覧ください。

※昨年6月に開催された「第51回総代会のまとめ」についても発行してほしいと、臨時総代会で総代から要望を頂いております。これから作成する予定なので、しばらくお待ちください。

### 2025年1月・2月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
<p>○「常総っ子応援団」流星台プレイパーク:毎週木曜日10～14時活動中です!(出入り自由)</p> <p>1/25(土)みそ作りワークショップ@つくば 1/31(金)みそ作りワークショップ@柏 2/1(土)あきたこまちR学習会(生協本部)</p>	<p>1/19(日)甲状腺検診@白井市 1/26(日)関東子ども健康調査年次報告会</p>

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円(期間:～2025年3月4回まで)
- ★【注文番号:500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円
- ★【注文番号:500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円(一次締切:～2025年4月5回まで)

## 【開催予告】今年も「みそ作りワークショップ」を開催！

「初めてだけど出来るかな」の方も「もう一度知りたいな」の方も、ぜひお誘いあわせの上  
ご参加ください！今年も下記エリアで開催の予定です。

- 開催期間：1月下旬～2月末くらいまで。
- 開催地区：【千葉県】柏・松戸 【茨城県】守谷、つくばみらい、つくば、牛久



決まった日程は1ページ予定表に掲載していますが、詳細は後ほど配布されます案内チラシをご覧ください。たくさんのご来場お待ちしております。



**味噌瓶 貸出しのご案内** お家で味噌作りをされる方へも含め、瓶の貸出しを行います。  
ご利用の方は、今週配布のチラシをご覧ください。

## 【大豆プロジェクト】常総生協と大豆・手作り味噌にまつわる経緯まとめ

前号のNewsletterにて大豆プロジェクトの今年度の報告を掲載。今回は今日に至るまでの間、常総生協組合員と生産者が、地場の安心な大豆づくりのために活動を続けてきた歴史を少し紐解いてみます。

年	常総生協の動き	大豆/手作り味噌活動	社会の動き
1996	遺伝子組み換え食品輸入許可取り消し緊急署名運動、厚労省単独交渉…【解説①】	手作り味噌提案と各地での講習会開催	モンサント社等多国籍企業による遺伝子組み換え作物輸入申請と厚労省認可
1997	有機農作物の商品化(JAS企画化)反対声明	手作り味噌コンテスト開催	東海村旧動燃核燃料再処理工場火災
2001	手作り味噌用大豆をやさと農協と地場契約栽培	味噌づくり講習会各地で開催 手作り味噌用大豆作付【JAやさと・島田さん、江畑さん】	小泉内閣発足、日本でBSE発生、3.11同時多発テロ
2002	食生活の見直し「常総生協食生活指針」	味噌づくり講習会各地で開催	雪印牛肉偽装事件、全農チキンフーズ偽装事件
2003	旧・谷和原村・遺伝子組み換え大豆栽培事件、遺伝子組み換え作物反対全国集会(旧・谷和原村)、茨城県議会にGM栽培規制要望署名運動、県議会請願採択、茨城県規制方針発表、農水省実験栽培手続き法制化…【解説②】	やさと大豆生産者との大豆畑交流会 味噌づくり講習会各地で開催	モンサントらによる遺伝子組み換え大豆を旧・谷和原村の一般圃場試験栽培・開花 イラク戦争始まる
2004	旧・谷和原村大豆生産者・おかべや・常総生協 大豆産直提携契約	地場契約大豆 枝豆交流会 自給大豆 不作により生協本部にて組合員大豆選別作業味噌づくり講習会各地で開催	新潟中越沖地震
2005	地場契約大豆不作を契機に大豆の備蓄開始「大豆基金」創設…【解説③】	「大豆基金」創設 味噌づくり講習会各地で開催	茨城県で鳥インフルエンザ発生
2008	余剰備蓄大豆を原料にオリジナル醤油(沼屋本店(つくば))、納豆麹漬(白鷹農産加工研究会(山形))を加工依頼。	幼稚園での食育活動 味噌づくり講習会各地で開催	中国産コープ餃子農薬混入事件 リーマンショック
2011	TPP反対キャンペーン展開、初期被爆防護呼びかけ、Nai放射能測定機購入、総代会特別決議「暮らしを見直し 原発の無い社会を」	味噌づくり講習会各地で開催 食品の放射能検査開始	東日本大震災 福島第一原発事故発生
2012	東海第二原発運転差止訴訟 開始	味噌づくり講習会各地で開催	
2013	共同購入事業立て直し3カ年方針 地域市民団体と共同で「関東子ども健康調査支援基金」設立 甲状腺検査開始	地場大豆生産者【飯塚さんにパトタッチ】 味噌づくり講習会各地で開催	原子力「新規制基準」施行
2018	フードバンクちばと連携して福島飯館へ食糧支援	地場大豆生産者【柘植さんにパトタッチ】 地場大豆不作→おきたま興農舎から有機大豆支援(以降毎年) 味噌づくり講習会各地で開催	西日本豪雨 北海道地震
2021	新型コロナウイルスワクチン学習会 ミャンマーへ折り紙千羽鶴を届ける活動	地場大豆生産者【長島さん、ダニエルさん、横瀬さん、倉持さんでスタート】→「大豆プロジェクト」始動 味噌づくり講習会各地で開催	東京五輪 熱海で土石流災害
2023	ALPS処理汚染水の海洋放出に反対要請	地場大豆生産者【坂本さん参加】5生産者に。 味噌づくり講習会各地で開催	

【解説①】世の中ではまだ遺伝子組み換え農作物があまり知られていない1996年、遺伝子組み換え大豆の輸入許可が下りそうな時に「遺伝子組み換えはダメ」と、当時の常総生協組合員は訴えた。

【解説②】2003年、地元の旧・谷和原村で遺伝子組み換え大豆の作付けが行われた時に、組合員、職員、生産者皆で反対し、茨城県議会に対して遺伝子組み換え作物栽培規制を請願。県議会は請願を採択。農水省も実験栽培手続きを法制化することとなりました。

【解説③】大豆基金：大豆づくりは収穫量が不安定。そこで大豆の備蓄政策を開始。他方で備蓄には保管料等コストもかかることから基金を創設。

常総生協に関わるみなさん、こんにちは(^\_^)  
ハチドリ仲間(南米・先住民の昔話、森の火を消そうと  
小さな嘴・くちばしで水を運ぶハチドリのお話より)をつなぐ  
新しいコーナー「ハチドリ・レター」です。  
今週は監事の野口さんからです♪



## 皆さんは大豆の脱穀をやってみたことがありますか？

昨年12月18日坂東市のどんぐりていさんで、大豆の脱穀のお手伝いに参加させていただきました。

「大豆の脱穀ってどんな風にするのかな？」とワクワクしながらうかがいました。まずびっくりしたのは、刈り取ってビニールハウスに保存されていた大豆の束はすごく乾燥していて一見「ほぼ枯れ枝！」だったこと。

この枯れ木の束みたいなものの中に大豆が！？

この束を脱穀機に入れると大豆の粒が勢いよく機械の側面にある開口部から出てきます。

なるほど、こうやって脱穀するのね！



脱穀機は激しい音を立て、あまりのうるさに隣でしゃべることもできません。

出てきた大豆は勢い余って四方に飛び散ったり、大豆に葉や枝も混ざってくるので、手作業で取り除いたりします。

ほんの数時間のお手伝いでしたが、手のひらにのるくらい大豆を収穫するのも、なかなか大変な事だなあと感じました。

けれど天気も良く、景色の良い場所での農作業は気持ちの良いものでした。お昼にどんぐりていさんの手打ちそば・野菜天ぷらをごちそうになりました。優しい温かみの薪ストーブの横で手打ちそばを食べると、大変贅沢な楽しい時間を過ごさせていただきました。

仕事量にしては、ちょっと食い逃げ感もあり、恐縮だったのですが...

皆さんも機会があったら、農業体験に参加してみてください。

普段食べているものがどのように作られているのか、生産者さんがどのような気持ちで作物を作っているのか、より身近に感じられるのではないかと思います。

貴重な体験をありがとうございました。

(監事 野口)

\* JOSO news letterは、常総生協のホームページのニュースレターの欄をクリックしてください。バックナンバーも選んでご覧いただけます♪カラーでご覧いただけます(^\_^)♪  
ハチドリ・レターについては、2024年9月2回号に詳しく掲載されています。

## 鈴木牧場・新牛舎応援基金の報告

昨年4月2回のNews letterにて「鈴木牧場・新舎応援基金」呼びかけたところ、195名の組合員さんより683口×500円＝計341,500円の支援が集まりました。ありがとうございました。

昨年11月27日に鈴木牧場さんへ支援金を送ったところ、鈴木牧場さんから以下のメッセージが届きました。

いつも鈴木牧場を応援していただきありがとうございます。

この度、常総生協の組合員のみなさんから新牛舎設立に伴う支援金を頂戴致しました。本当にありがとうございます。

2024年は工房創立20周年を迎え、3月に完成した新牛舎のお披露目イベントを12月1日に開催し※、延べ200名以上の方々が牧場を訪れてくれました。

イベントでは、鈴木牧場をまるごと感じて楽しんでいただけるよう、鈴木牧場の製品や地元の有機野菜を使った贅沢弁当を提供したり、チーズ体験をしたり、クラフトの販売などを行いました。また牛舎内で牛を目の前に食事をしていただき、鈴木牧場の取り組みがこのような環境を可能にすることを実感していただけたかと思えます。

常総生協とは20年以上のお付き合いとなりますが、その時に、将来このような多くの方々に支持される牧場になるとは想像もつきませんでした。健康に牛を飼うという牧場の理念に共感してくれる人達との交流は、私たちにとってまさに至福の時。

これからも【美味しい乳製品は土作りから】をモットーに、家族・スタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

石岡鈴木牧場ヨーグルト・チーズ工房 鈴木昇



基金にお寄せくださった皆さん、本当にありがとうございました！  
現在も基金は受付中ですので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

↓↓↓

【注文番号: 500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円(期間: ~2025年3月4回まで)

※20周年記念イベントの報告は1月1回News letterに掲載しています。

## 原発新增設コストを徴収する制度に関する署名、提出しました！

昨年末に呼びかけた署名「巨額の原発新增設コストを国民からこっそり徴収する新たな制度RABモデルの導入をやめてください」は541筆が集まり、主催団体へ提出しました。

この声が届くことを願いたいと思います。ご協力ありがとうございました！

